

■編集・発行 **NPO法人 大谷石研究会**

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町350番地  
(有限会社 高橋佑知商店内)  
TEL028-652-0005 FAX028-652-5374  
http://www.ooyaishi.jp/ mail:so-setsu@nifty.com  
編集責任者 小野口 順久

**大谷町おこし憲章**

- 一、大谷石百選を選定し、大谷石の素晴らしさを広めます。
- 二、大谷石を使用した美術、工芸、建築資材などの開発支援を行います。
- 三、大谷町の美化運動と大谷石産業の復活を支援します。
- 四、日光杉並木と大谷石遺跡、大谷石建造物の世界遺産への申請・登録を目指します。



6 m 近くある壁は、重厚感ある手掘りの大谷石  
営業■11:30~14:30 17:30~22:30  
(カフェは18:00, ショップは22:30まで)  
住所■宇都宮市東鳩田2-8-8  
電話■TEL 028-622-5488 www.ishi-no-kura.jp



**モダンな石蔵レストラン  
石の蔵**

家業の砂糖や小麦粉などの食品原料の業務用倉庫として50余年前に建てられた蔵は長い役目を終え、ひっそりと休息の時を刻んでいました。その蔵が現代のクリエイターの手によって、創作和食店「石の蔵」として甦ったのが7年前。外観は倉庫の面影をほぼそのままに残しているのに対し、内部は幻想的に連立する巨大な和紙の光柱、野趣あふれる木の家具、瓢箪の照明などがダイナミックに配され、モダンでありながらどこか懐かしい趣。カフェ&ショップエリアでは、巨大なレリーフに目を奪われます。

料理は、契約農家から届けられる野菜を中心に、栃木県産の食材を吟味した創作和食の数々。個室は4室。接待や家族の集まり、立食パーティーなどにもおすすめです。レストランウエブページではオリジナルメニューも。

建築や音楽、美術を趣味とするオーナー・上野さんが作り出す、食と空間のコーディネートを堪能できます。

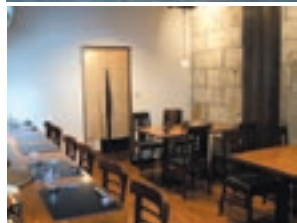
**大谷石 東西南北**

**各地から労働力を吸収した大谷**

「皆さんに残念なお知らせがあります。実は、テツオ君が、宇都宮市郊外の大谷石探掘現場で働いているご両親と一緒に暮らすため、転向することになりました」。大田原町立大田原小学校5年2組の教室で、教師が児童たちに説明。廊下で立たされ坊主だったオサムは、この話に驚き、テツオに会うため、テツオの家に向かって走る。1998年に公開された映画「オサムの朝」のひとコマだ。映画の原作は、小説家、森詠(66)が、自らの少年期を振り返った自伝的小説「オサムの朝」。第10回坪田譲治文学賞受賞作だ。戦後の貧しい時代、東京から栃木県北部に移り住んだ少年、オサムの多感な日々を描いている。テツオはオサムにとって貴重な地元友達の。突然の悲しい別れだった。

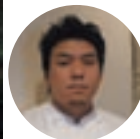


テツオの両親が大谷で働いたのは、当時の貧しい農村地帯では満足な職が得られなかったためだろう。一種の出稼ぎに見える。探掘作業という労働集約型産業だった大谷石業界は、ある時期まで各地の余剰労働力を吸収する受け皿になっていたはずだ。「大谷に行けば、何とかなる」。こんな思いで多くの人が足を運んだのだと思う。今も大谷の各所に残っている廃屋には、そんな家族たちの夢と挫折が染み込んでいる気がする。



営業■11:30~14:30  
17:30~23:00  
定休■火曜日  
住所■宇都宮市戸祭元町11-11  
電話■TEL 028-624-1114

**気軽に立ち寄りしたい  
石蔵の店**



**てっぱんびすとろ 天野**

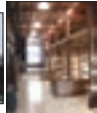
もと小幡町にあった鉄板焼きの店を、平成18年9月、石蔵に移転してオープンした「てっぱんびすとろ 天野」。大谷石の壁や2階に通じる階段はそのままだに、手を加えたのは多少の改装と福田シエフ自らの壁塗りとか。「冬は多少温まるまで時間がかかりますが、夏は涼しくて大谷石の持ち味が心地よいですね」と福田さん。

カウンター、オープンキッチン、器などこだわりの有田焼と益子焼が中の間接照明とあいまって、独特の雰囲気をも出ししています。お勧めは肉・魚・野菜の鉄板焼き。昼はランチ1500円、夜は3000円からのコース料理。2階は最大20人迄のパーティーが可能です。



**とびきりの時間ここに 있습니다。**

おりおりの風情を楽しみ、  
趣と感性を大切に、  
いつも驚きと楽しみがあふれる、  
斬新な空間と時間を提供します。



器と空間の匠  
心のやすらぎを感じる



〒320-0812 宇都宮市一番町2-17 TEL028-633-3574  
■営業時間 AM10:00~PM7:30 ■日曜定休

**システム開発ならお任せ下さい**



株式会社 **アイシー・イス**  
価値あるシステムの創造

〒320-0055 宇都宮市下戸祭1-9-16  
TEL 028(643)3377 FAX 028(643)3378  
http://www.icsjpn.co.jp